

能満寺便り

お盆を迎えて

お盆を迎えました。昨年も福山は水害に見舞われ瀬戸・山手地区は全国版でニュース報道されました。また九州地区、秋田地方の災害等、我が

国は近年甚大な自然災害に見舞われております。被災した方々の一日も早い復興と、お亡くなりの方々の冥福を心よりお祈りいたします。さて現代の私達の生活は医療も高度に発達して、平生は「いのち」

の尊さを感じ難くなっている様に思っています。この様な災害に直面しますと改めて「命の尊さ」について考へる訳ですが、お大師様は『性霊集』の中で「私たちの命は、空を飛ぶもの・地に潜るもの・水に泳ぐ

(発行) 広島県福山市 西町1-20-3 妙智山普門院 寺能満 電話 922-2729 fax 932-1708

真言宗最高法儀 光明真言土砂加持法会

平成三十一年秋に十年に一度輪

番にて開催いたします「草戸長和結果光明真言土砂加持法会」を厳修いたします。土砂加持法会は、ご先祖様の供養としては最高の法式とされ、**不空羅索經**には「光明真言を百八遍唱えて土砂を加持し、その土砂を屍骸、墓、塔その他あらゆるものの上に散ずれば、その亡者が地獄・餓鬼・畜生・修羅にあつて苦しんでいても、大灌頂光明真言加持土砂の功力によって光明を得て、諸々の罪報を除き、苦身を捨てて西方極楽国土に往き、蓮華の上に化生し、菩提を成ずる」と説かれています。本来お檀家様の法事にて一座土砂加持をされると最も仏様の供養になるとされます

が、寺院住職三名から四名の出仕が必要となり、準備等が大変な為、私の記憶ではお檀家様で営まれたのは、平成初頭の大森家様が最後と記憶いたしております。当院の土砂加持法会は昼食を挟み一日かけて三座(午前二座午後結願座)式衆一〇名で行うもので、古く江戸時代より続いております。当結衆以外の近隣寺院は一座のみの法会らしく三座法会は大変珍しいと聞いております。当院のお檀家様を始め有縁の方々の**先祖供養を一日かけて合同にて執り行います。**当院の定例行事としては最大の行事となります。十年に一度の機会でございます。どうぞ檀家皆様の出仕ご援助宜しくお願い致します。

もの・林に遊ぶもの、すなわち宇宙に存在する全ての命に支えられている」と説かれています。

個々の尊厳を尊び、その上で個人と自然世界(宇宙)との繋がりを説いている点が真言宗の御教えの特徴と言えます。つまり私達の命もこの地球の大地自然と密接に係わって生きていき、生かされている、という事です。そう考えると私達の命はご先祖様から受け継いだもので、**ご先祖様への感謝の思い**が、先祖供養となるわけです。

お盆はご先祖様が古里に帰省する期間であります。どうぞ、心安らかに迎え上げて上げましょう。

南無大師遍照金剛



院内短信

◎九月二十三日(秋分の日・祝日)午前十時より常例の秋彼岸法会を執り行います。詳しくは別紙にてご案内致しますが、**先祖供養である塔婆供養**を行い、お勤めは参拝者の方と一緒に仏前勤行次第をお勤めいたしますので

経本をご持参下さい。法要の後、住職によるご法話を致します。また、おはぎとお茶のお接待を致しますので、どうぞ皆様ご家族でお参り下さい。◎**能満寺納骨堂並びに境内墓地永代使用者を募集**しております。当院墓地は街中

にあり静かで環境もよく、更に平地で、ご年配の方でもお参りができる大変便利な墓地です。詳細はお気軽に当院までお問合せ下さい。◎**来年7月**に5年毎にお詣りしております**高野山本山団体参拝**を致す予定です。◎お花を部屋に活けてみませんか。水曜日午後 研修センターにて教室開催中です。

手水舎の設置



手水鉢を支える天邪鬼

昨年より6回に分けて瀬戸内観音霊場巡拝を致しました。無魔成満の記念として手水舎を設置いたしました。ご参拝の折、ご利用ください。尚、自然石の手水鉢は東洋石材社様より寄贈を受けております。謹んで檀信徒皆様に報告致します

千葉県難波家ご葬儀

昨年千葉県船橋市の三好家様に続き7月18・19日と千葉県柏市にて難波慎次様のご葬儀に出張致しました。難波様は投手として盈進高校・立命館大学野球部で活躍され、その後千葉県にて事業をされておりました。

撫で五鈷杵

本年五月、能満寺ご本堂に撫で五鈷杵を安置いたしました。金剛杵とも謂われ、お大師様が唐より持ち帰った密教法具です。撫でる事で邪心煩惱悪心を打ち砕き、人身に迫る諸悪魔を打ち払うとされます。皆様もどうぞ、撫でにお越しください。

